

令和4年度

社会福祉協議会事業報告

事業報告

今日、少子高齢化の進行により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。また、核家族化による家庭規模の縮小も進行しているため、家族で支え合う機能が弱くなっています。そして、住民相互のつながりが希薄になり、社会的孤立者が増加傾向にあるなど、地域において孤立を起因とする様々な福祉課題も顕在化しています。

このような中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民の方々とともに地域福祉活動を通じた支え合いのまちづくりを旨として、神戸町地域福祉活動計画の基本理念である「人と人、心と心をつなぐ まちづくり」の実現を旨として活動を展開しています。

令和四年度は、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ふれあいいきいきサロンをはじめとした地域福祉活動事業、ボランティアセンター事業等において活動の中止や規模縮小を余儀なくされました。

また、本会が運営する介護保険事業では、燃料費高騰の影響を受け、通所介護事業で採算割れとなるなど、介護人材確保や感染防止対策と共に厳しい経営環境の中での運営となっております。

1. 法人運営事業

- ・理事会(3回) 評議員会(3回)開催
- ・監査(1回)開催
- ・会費の徴収
- ・日常生活自立支援事業
- ・福祉基金の運営
- ・生活福祉資金貸付事業 相談及び貸付
- ・生活困窮者自立相談支援事業

2. 企画・広報事業

- ・広報活動(社協だより年4回発行)
- ・ホームページ活用
- ・ふくしフェス。2022の開催

3. 地域福祉活動推進事業

- ・福祉推進委員活動
- ・新任委員研修会、研修会、役員会(年2回)
- ・友愛訪問
- ・要援護高齢者等に対する支援活動(月1回民生委員訪問)
- ・ほのぼの訪問
- ・独居高齢者に対する支援活動(月1回)
- ・福祉用具の貸出
- ・高齢者助け合いサポート事業
- ・独居又は高齢世帯へのワンコインサービス
- ・あんしん見守りネットワーク活動の充実
- ・(該当地区47地区中29地区で実施・見守り希望者129名)
- ・いきいきサロンの充実と拡大
- ・備品等貸出
- ・地区校区別組織モデル事業(下宮地区公民館福祉委員会)
- ・下宮小学校区におけるサロン事業の展開(中止)

4. 福祉サービス推進事業

- ・弁護士による無料法律相談(年6回)

・心配ごと相談

・(民生児童委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談)

・ふれあいいきいきサロン介護予防出前講座

・もちのき園職員出向(職員2名出向)

・地域包括支援センター出向(職員1名出向)

・生活支援体制整備事業

・出会い創出支援事業(結婚相談サロン)

・毎月第4土曜日に実施

・フードバンクのごとど事業(令和4年度より実施)

・受け取り件数39件 提供件数49件

5. ボランティアセンター活動事業

- ・ボランティア保険の加入
- ・地域福祉学習事業の実施
- ・ボランティア連絡協議会の活動

6. 共同募金配分事業

- ・赤い羽根募金運動(10月1日から12月31日)
- ・歳末たすけあい募金運動(12月1日から31日)
- ・ふれあいいきいきサロン事業(17地区)
- ・子育て支援事業(2団体・幼児園中止)
- ・サンタクロース訪問事業(町内幼児園439名プレゼント配布)
- ・歳末ほのぼの訪問事業(ほのぼの訪問対象独居高齢者14名)
- ・災害対応・防災事業(防災テント・発電機ほか)

7. 介護保険事業

- ・居宅介護支援
- ・ケアプラン1,985件 介護予防プラン365件
- ・訪問調査 540件
- ・訪問介護
- ・訪問介護延べ5,153名 介護予防訪問介護延べ639回
- ・障がい者自立支援延べ294回
- ・通所介護
- ・通所介護 延べ7,177名
- ・介護予防通所介護 延べ782名